

発行 佐久市有機農業研究協議会(発行責任者:伊澤 敏)

【構成】佐久市・JA佐久浅間・佐久総合病院・佐久市農業委員会臼田地区委員会
(事務局)長野県佐久市臼田787 (一財)農村保健研修センター内 TEL 0267-82-5800 FAX 0267-82-5801 URL <http://nouson-rhtc.jp/>

活動の紹介は



講演会

有機農業を始めるには

11月26日、当協議会主催の講演会を開催しました。

当日はでんぷく農場の田嶋克次氏を講師に迎え、「有機農業を始めるには」をテーマにお話いただきました。

会場には地域の皆さまをはじめ多くの方々が集まり、「まずは土づくりが重要である」といったお話しに熱心に耳を傾けていました。時折、参加者への質問も交えながら、終始穏やかな雰囲気の中で進められました。

田嶋さんからは、有機農業の魅力として、生物多様性を身近に感じられることや、生産者と消費者が単なる取引ではなく“つながりの輪”にあることが語られました。

また、講演後のアンケートでは「『有機栽培経営には夢がある』という言葉が印象的だった」と参加者から感想が寄せられました。

ご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。今後も地域の皆様とともに学び合う企画を続けてまいります。次回の開催にもぜひご期待ください。



2026年度

有機栽培農園利用者募集

この農園は、農薬や化学肥料を使わない実践的な有機農業を普及することを目的とし、今年で開設30年になります。佐久市堆肥製産センターの堆肥のみを使って土づくりをしている農場でおいしい野菜を育ててみませんか。



場 所 当協議会 実験農場内((一財)農村保健研修センター西側)

募集区画 20区画(1区画約35㎡) ※原則1戸1区画

使用料 1区画 年間4,000円(税込)

※使用料納入後に途中解約した場合の使用料の返金はありません。

使用期間 4月6日(月)から11月末日まで

申込期間 3月2日(月)から13日(木)の平日 9時から17時

農村保健研修センター窓口にて利用上の規則を確認し、申込用紙に必要事項を記入してお申込みください。※新規申込者を優先し、応募多数の場合は抽選により決定いたします。

開園式 4月6日(月)午前10時 実験農場管理棟にて(区画割抽選、利用上の説明、農園の栽培指導など)

問い合わせ (一財)農村保健研修センター 電話 0267-82-5800

要申込

学習会のご案内

—土のpHと養分量を測りましょう—



野菜づくりのための良い土ってどんな土？
ご自身の畑の土の状態を調べてみませんか？
お持ちいただいた土のEC（電気伝導度）とpHを測定し、その結果から土づくりや肥料の使い方などをアドバイスします

日時 4月3日(金) **集合** 9時 (終了 12時予定)

会場 当協議会 実験農場管理棟
(一財) 農村保健研修センター西側

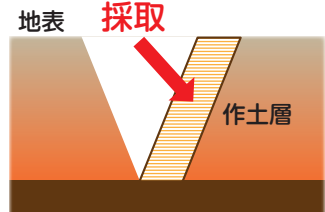
参加費 土壌1検体200円(税込)

申込方法 電話にてお申し込みください
(一財) 農村保健研修センター (平日9時~17時)
TEL:0267-82-5800

※1人2検体まで、20検体限定(先着順)

担当講師 長野県佐久農業農村支援センター
技術経営普及課・技師 茅野 好司氏
当協議会・実験農場長 井出 明氏

採土方法



- 地表のごみ等を取り除く
 - 深さ10~15cmで柱状に採る
 - 1つの畑で4~5カ所から採土し、一つにまとめる
 - よく乾燥させる
- ふるいにかけて100g程度の土を当日お持ちください。



イベントに参加しました

当日は当協議会の実験農場で、有機的な栽培方法で育てた野菜を販売しました。両日とも多くの来場者にお立ち寄りいただき、無農薬・無化学肥料で栽培した野菜の魅力を直接お伝えすることができました。



佐久総合病院本院秋祭り

10月3日に佐久総合病院本院で秋祭りが開催されました。
タマネギ・ジャガイモ・カボチャ・サツマイモ・長ネギ・ナスなど、16種類の野菜を持参しました。今年開催時期が早く、ハクサイやキャベツを出品できなかったのが残念です。

佐久市農業祭

11月8日に佐久市農業祭が開催されました。当協議会は2年ぶりに参加しました。野菜を購入いただいた方には、当協議会の実験農場でも使用している佐久市堆肥製産センターの堆肥を配布し、有機農業の循環の大切さも紹介しました。



販売ブースに並ぶ新鮮野菜



会話が弾む販売風景



購入者に堆肥の説明をする様子



にぎわう販売ブース